

部局名	都市整備部			所属名	土木建設課			所属長名	矢野 克行			電 話	483-1151 内線3620		
-----	-------	--	--	-----	-------	--	--	------	-------	--	--	-----	-----------------	--	--

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3315		事務事業名称	地域排水整備事業							短縮コード	経常		臨時	3315	
予算区分	会計	01	一般会計		款	08	土木費		項	03	河川費		目	02	河川改良費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		河川法，国有財産法，地方自治法									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																
降雨時溢水災害等が発生した場合や道路排水の処理の必要性が生じた時より																
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系		5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして							
災害の発生箇所は，開発行為などで状況が変化すると生じる場合があり，現在，把握している箇所を整備すれば完了という事にはならない。毎年，どこかしら新しい要整備箇所が発生している。							大項目（節）	01	市民の安全							
							中 項 目	01	防災							
							小項目（施策）	03	都市防災対策の推進							
							細 項 目	01	都市防災構造の強化							
						実施計画の計画事業										
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	雨水排水施設						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 雨水排水施設の整備						
	※平成19年度に計画していること： 雨水排水施設の整備						
意図 （何を狙っているのか）	雨水排水施設の整備						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	災害防止						
区 分			単位	1 7 年度	1 8 年度		1 9 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	要整備箇所	箇所数	4	6	8	5
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	整備箇所	箇所数	4	4	3	1
	指標 2						
	指標 3						
成果指標	指標 1	整備率	%	100	67	38	20
	指標 2						
	指標 3						
上位成果指標	指標 1	自主防災組織数	組織			89	
	指標 2	非常用食糧の備蓄数	食			103,590	
	指標 3	災害時協力協定締結数	協定			28	

コード		3315	事務事業名称	地域排水整備事業			所属名	土木建設課
			単位	１７年度	１８年度		１９年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円		0	0	0	
		県	千円		0	0	0	
		地方債	千円		0	0	0	
		一般財源	千円	17,266	14,181	20,588	12,018	
		その他	千円	12,251	14,699	23,637	0	
	主な事業費の内訳			村上2137番地先排水整備工事 15,435 米本2257-6番地先既設排水路撤去整備工事 2,362 高津687番地先排水整備工事 3,937 保品・上高野地先排水整備工事	八千代台東3丁目排水整備工事 12,684村上2137番地先排水整備工事 17,500	村上2137番地先排水整備工事 30,975 負担金 2,320	工事請負費 7,000	
	人件費(B)			千円	4,806.9	4,799.2	15,682.4	
トータルコスト(A)+(B)			千円		34,323.9	33,679.2	59,907.4	
							20,070.4	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由				
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	「地域排水整備事業」は上位の施策「都市防災対策の推進」にむけ推進しており，結びついている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある					
			☐ 結びつきが弱い・ない					
			☐ 評価対象外事項					
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	災害の解消に向けて，今後も整備を実施する必要がある。				
			☒ 達成していない					
			☐ 評価対象外事項					
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	雨水排水施設の整備は，市の責任のもと行うべき事業である。				
			☒ 可能性はない					
			☐ 評価対象外事項					
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	目的の変更はなく，現状の対象と意図で結果に結びつくことが出来る。					
		☐ 見直す必要がある						
		☐ 評価対象外事項						
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	水害の解消にむけ，最善を尽くし要望に応える努力をしている。				
			☐ 効率性向上の可能性はある					
			☐ 両方可能性はある					
			☒ 可能性がない					
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等					
			☐ 臨時的任用職員等の活用					
			☐ ＩＴ化等業務プロセスの見直し					
			☐ 受益者負担の見直し					
			☐ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
			☐ 上記以外の方法		2		実施主体 (所管部署)	
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある					
			☐ ない					

コード	3315	事務事業名称	地域排水整備事業				所属名	土木建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			要望どおり排水整備が進まないが，少しでも市民要望に応えられるように今後も努力していく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			この事業を継続するに当たり、経費・成果共に不変である。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
事業内容が災害に直接関わることであり，要望は切実である。									

所属長コメント	水害の解消に向けて，今後も事業を継続する必要がある。								
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☒ 現状のまま継続									